

事業所名 グループホームせとうち  
 作成年月日 平成23年1月4日

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて焦点化できなくならないように、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |   |                                       |  |             |
|----------|------|---|---------------------------------------|--|-------------|
| 優先順位     | 項目番号 | 現状における問題点、課題  | 目標                                    | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容   | 目標達成時に要する時間 |
| 1        | 15   | 食事に伴う一連の作業が出来る能力を持ちながら、能力を発揮する事が出来ずにいる為、個々の能力に応じた作業が、出来るように支援が必要。 | ①個々の能力に応じた作業を心身の状態の良い日は、積極的に行えるようになる。 | * 職員の意識改革を行う。<br>①入居者様の残存能力を高めるために職員全員が認識を新たに出来るようにミーティングを行い検討し、支援する。  | 1ヶ月         |
|          |      |   |                                       | ②入居者1人1人について「何ができるか？」を入居者様の意見を伺いながら、「入居者様のできる事表」を作成し、本人、職員全員が情報を共有した上で支援を行う。   | 2ヶ月         |
|          |      |   |                                       | ③入居者様と各担当者が、出来る能力を見出し、出来ると思われる作業から、している作業が増えるように、個々の能力にあった作業が定着して行えるように見まり支援する。<br><br>* 現状の能力を維持する事の大切さが、その場のみでも理解でき、強制的でなく違和感無く作業に参加できるように支援する | 6ヶ月         |